

議会の行政調査報告

”町民の健康づくり”

議員全員による特別委員会を設置し

11月9日～11日、福島県2町を視察

百歳への挑戦「トータルケアの町づくり」

など。

これらの調査結果に基づき保健・医療・福祉を連携強化し、一体

他町村に比べ、一人当たり高額な医療費負担をしていた実態から医療費削減のため予防医療に重点を置いた施策を実施した。

平成4年度から、大学教授指導による町民対象の栄養・健康度を総合的に調査。その結果、脳卒中死亡・胃がん死亡・骨粗しそう症・腰曲がり等が多いことが判明。

システムの導入。
平成15年度からは、
健康で百歳を迎える健
康寿命延伸事業実施。
(1) 糖尿病・動脈硬化対
策 (2) 肺がん対策 (3)
高齢者運動教室 (4) 健
康運動推進員の育成等

2 医療分野

(1) 国民健康保険の減税
措置 (2) 町内4診療所
の医師及び検査機器の

5 健康な土づくりの取り組み
「健康な体は健康な食べ物から・健康な食べ物は、ミネラル豊富な健康な土から」とし、健 康なミネラル米・野菜づくり事業を開。



健康づくりのミネラル野菜が特産品に

- ーの空車に効率よく乗り合わせ、戸口から戸口まで送迎するシステム「」を構築実施するとした。

- 高齢者の外出機会増で生きがい創出と健康づくりを推進している。商店街利用者が増加し、タクシー会社の売り上げ増と空車の有効活用を実現している。経営健全化のため、広告収入等多様な取り組みが行われている。

充実 (3) 訪問看護ステーションの開設等。

◎ 特徴と効果

「おだか めーまちタ
クシーア

を実施

(1) 介護老人保健施設の 福祉分野

年間250団体に及ぶ
常に、専門的な学者

福島県小高町

戸口から戸口へ
平成11年からニーズ
調査・検討会を重ね
「利用したい人の要望
を時間ごとに組み合わせ、借り上げたタクシ
ーの空車に効率よく乗
り合わせ、戸口から戸
口まで送迎するシステ
ム」を構築実施すると
した。

平成12年、NTT東
日本の支援でこの予約
管理システムを開発。

平成13年、国土交通
省のモデル事業認定を
受け、試験運行を続け
ながら15年に本格運行

タード一括表示管理され、効率運行が可能となつてゐる。運行は町内に限定し乗り合い制行政の財政支出は年間で1000万円。

高齢者の外出機会増で生きがい創出と健康づくりを推進している。商店街利用者が増加してタクシー会社の売り上げ増と空車の有効活用を実現している。経営健全化のため、広告収入等多様な取り組みが行われてゐる。

高齢者等の交通手段確保が課題となり、町営福祉バス導入試算では2700万円と高額。また、町内タクシー会社は、利用者が伸び悩み空車の有効活用が課題となつていた。

借り上げ、予約・配車のオペレーターを常駐予約システム……利用者の電話申し込み時に取引履歴を表示→自宅と行き先を地図画面表示→タクシーの現在位置確認。